

## 第4回南高教養アップ講座

講師 ノートルダム清心女子大学 英語教育センター 講師 調子 和紀 氏

演題 「アクティブ・ラーナーになろう ―英語学習が今より好きになるために―」

【要旨】 アクティブ・ラーニングの手法を用いて、英文理解からアウトプット活動まで授業形式で行います。理系的な内容を扱いますが、文理関係なく興味関心を持てる内容です。

### 【生徒の感想】

- 今回の講座を受講して「授業を能動的に受けられるようになろう」という目標を持つことができました。興味をもって進めていくことで、効率も楽しさも全く違ったものになってくると思います。自分は英語が得意ではありません。単語がすぐに出てこなかったり、文法をきちんと使いこなせなかったりで、模試などの成績も伸び悩んでいます。今回は英語に入り込むことができたいという意欲が湧き、印象にも残りました。何か自分から取り組めることを1つでも増やしていけたらいいなと思いました。
- 自分は今までの勉強は「やらないかなあ」といった“やらされてる感”の強い勉強態度でした。しかし、今日の遺伝子の講義は内容も難しく、さらに英語でありながらも「なぜ？」という気持ちでのめり込むように授業に参加できました。今日のような、勉強を楽しいとか、不思議といった主体的な思いを忘れずに学習に取り組みたいと思います。
- 難しい単語や文章もたくさんあったけど、映像を観たり、班で活動して意見交換をすることで楽しむことができました。今までは授業はしなければいけないものだと考えていたけど、先生がお話してくれたように、自分から多くの知識や情報を学びに行けば、これからの授業は今までよりもっと楽しくなるのかなと思いました。また、医療についても興味を持ったので、自分でも調べてみたいです。
- 講座中、調子先生は英語でよく説明されていて、外国で授業を受けているような新鮮な感じでした。先生のお話から、英語の予習を新しい単語を覚えなければ・・・などと考えるのではなく、その文章の内容を楽しみながらしていきたいと思いました。先生の「分からないから楽しい。トライすることが大切だ」という言葉が印象に残りました。自分が興味を持ったこと、またそれだけではなく、勉強面にも前向きに取り組む、自分の道、可能性を広げていきたいと思いました。グループでコミュニケーションをとり、しっかり考えることができるなど、とても充実した時間でした。
- 英語の勉強をするにしても、別の強化をするにしても、積極的に分からないことを見つけて、先生や友だちと一緒にそれを解決していくことが大切だと思いました。「授業」はどうしても受け身になってしまうことが多いので、友だちや自分の意見を大切に知知識を深めたいです。また、今回読んだ遺伝子組み換えの文章で分からない単語がいくつかあったので、帰ってから調べたいです。医学の分野でとても面白い話題だったのでとても楽しかったです。
- 講座の前半に難しい単語の多いビデオを見て問題を解きました。単語が分からなくても苦しくなく、よくがんばれたと思います。また、分からなかった単語がどんな意味

なのか知りたいと思えて、自分から学びたいという気持ちを体験できました。アクティブな自分を作ることで勉強の質が大きく変わると思うので、日頃から活発に活動してきたいと思いました。今回の講座に参加して良かったです。

- 今回の講座を受けて、今までの授業や予習が受け身の姿勢でいたことに気付きました。講座で見た英文はとても難しく、一人ではできなかったけど、グループの人と協力するとできるようになり、受け身ではなく、自分から人に聞くような姿勢が大切なのだと分かりました。人と協力したからこそ、難しい問題だったからこそ、答えが知りたいとなって、楽しく学べたり、達成感を得たりできました。この姿勢を忘れず、授業や自主学習に生かしたいです。
- 今日の講座では、英語で遺伝について学び、仲間と意見を交わしました。遺伝による病気が「CRISPR」という技術で治るということを聞いて驚いたと同時に、医学はそこまでできるようになったのかと恐怖を感じました。専門的な英単語もあって難しかったけどすごく興味深かったです。英語を通して今日のように新しい知識が生まれると思うと英語の勉強もがんばれそうです。
- 私は英語がとても苦手です。しかし、今回の講座は、今、関心を持っているゲノム編集の話題だったので楽しかったです。苦手な英語も、関心を持っていることを題材にすれば楽しく感じる事が分かりました。今、好きなアーティストがいるのですが、自分の興味ある分野から英語を楽しむのも1つの手だと思いました。英語がんばります。